

発行日

患者 ID

フリガナ |

生年月日 |

患者氏名 |

様

年齢性別 |

/

説明文書 冠動脈 C T 検査

1) 目的

心臓の血管（冠動脈）をよりきれいに撮影して病変を見つけやすくするため、撮影する前に2種類の薬剤を使用します。1つはヨード造影剤といって、注射することで血管が観察しやすくなるため、より正確な診断を行うことができます。通常、健康な方では造影剤は注射後速やかに腎臓から尿中に排泄され、約24時間以内に体外へ排泄されます。排泄を促すためにもいつもより水分を多めに摂ってください。

2) 造影剤の使用に注意が必要な方

以下に該当する方は造影剤が使用できない場合があります。必ずお申し出ください。

- ① 過去に造影剤を使用した検査を受けたことがあり、その際に気分が悪くなった方。
- ② 気管支喘息がある。または、薬・食物アレルギーがある。また、両親・兄弟に該当者がいる方。
- ③ 重篤な腎臓病、甲状腺機能亢進症などの病気がある方。
- ④ 妊娠している方。または、妊娠している可能性がある方。

3) 造影剤の副作用

造影剤は副作用の少ないものが開発され、**安全な薬品**ですが、副作用が起こる可能性があります。重い副作用ほど頻度は低くなりますが、万が一副作用が生じた場合は迅速かつ最善の処置を行います。症状は、ほとんどの場合一時的なものですが、ご心配であれば、検査依頼科、放射線科受付、救急外来までご連絡ください。

- ① 軽い副作用 | 吐き気、頭痛、腹痛、下痢などが100人に3人ぐらいに認められますが、治療を必要としないものがほとんどです。
- ② 重い副作用 | まれに呼吸困難、血圧低下、意識障害、ショックなどが千～1万人に1人の割合で見られます。万が一、副作用が起こった場合には、迅速かつ最善の処置を行います。
- ③ 死亡例の報告 | 非常にまれですが、様々な処置を行っても、病状・体質によっては、25万～30万人に一人の確率で死亡例の報告があります。
- ④ 上記の2)造影剤の使用に注意が必要な方に該当する方は副作用を起こす危険性があります。
- ⑤ 注入する際、造影剤が血管外に漏れ、腫れて痛みが生じることがあります。通常は自然に吸収されますが、時に処置が必要になることもあります。
- ⑥ 検査終了後、遅発性(30分から数日後)に頭痛、発疹、かゆみ、吐き気などの症状が現れることがあります。

発行日

患者 ID

フリガナ |

生年月日 |

患者氏名 |

様

年齢性別 |

/

説明文書 ヨード造影剤に関する説明

下記の説明をよく読み、造影剤を使用する目的（メリット）と副作用（デメリット）を十分に理解した上で造影剤使用についての同意書に署名してください

- 同意書の署名が困難な方、自ら判断が難しい方、未成年者の場合等は代諾者が署名してください。
- 同意が確認されるまで造影剤は使用いたしません。
- 検査前であれば同意はいつでも撤回することができます。

使用目的

- 造影剤とは、身体組織の濃淡を強調することで、より正確な画像診断を行うための薬剤です。
- 具体的には、病変の検出率向上や、性質をより詳しく診断することが可能になります。

副作用

- 造影剤の安全性は確立されていますが、あらゆる薬剤と同様に副作用が起こる可能性があります。
- 今まで副作用がなかった方でも起こる可能性があります。
- 副作用の症状は様々で皮疹などの軽症から、アナフィラキシーショックや呼吸困難などの重篤なもの、極々まれに死に至ることも報告されていますが、重篤な症状ほど発症頻度は低確率になる傾向があります。
- 副作用発現時は適切な処置を受けることにも同意していただきます。
- 万が一重篤な副作用が起こったときは、病院全体で迅速に対処する体制を整えています。
- まれに造影剤が血管の外に漏れ、痛みを伴うことがあります。漏れた造影剤は時間と共に吸収されますが、腫れが強い場合には処置が必要になります。

使用後の注意点

- 多くの場合、副作用は投与後 5 分以内に発現しますが、1 時間から数日後にも発現する可能性があります。
- 造影剤使用后、発赤、じんま疹、嘔気、血圧低下、頭痛などの症状出現時は当院に連絡下さい。
- 体内の造影剤は約 24 時間で尿などと一緒に体外へ排泄されるため、いつもより多めに水分補給をお願いします。
- 水分制限されている方は主治医の指示に従ってください。

	主な副作用 頻度と症状
1%以下	嘔気 嘔吐 蕁麻疹 潮紅 咳 くしゃみ
	動悸 血管痛 呼吸困難 胸痛 腹痛
	悪寒 嘔声
0.01%未満	ショック アナフィラキシー 痙攣発作 意識消失 心停止

特に注意が必要な方

- 腎機能が低下している方（eGFR 60 未満）は、造影剤により腎機能が急激に悪化することがあるため、造影剤使用の前後に点滴などの処置が必要になる場合もあります。
- 気管支喘息のある方はない方に比べて約 10 倍、心臓の病気のある方はない方に比べて約 3 倍、過去に造影剤の副作用歴がある方はない方に比べて約 5 倍 副作用が起こりやすいことが知られています。
- ヨード（ヨウ素）にアレルギー・過敏症や重篤な甲状腺疾患のある方はヨード造影剤が使えません。

糖尿病薬（ビグアナイド系）を内服中 かつ 腎機能が低下している方（eGFR 60 未満）

- 乳酸アシドーシスを起こすおそれがあるので、糖尿病薬を休薬する必要があります。メトグルコ、メルビン、エクメットなどは、検査 2 日前 ~ 検査 2 日後の 5 日間は内服を中止してください。

妊娠中 または 授乳中の方

- 主治医と検査についてよく相談したうえで造影剤の使用に同意してください。
- 特別な理由がない限り、造影剤使用後の授乳制限は必要ありません。

発行日

患者ID

ヨード造影剤使用についての同意書

フリガナ | 生年月日 |

患者氏名 | 年齢/性別 |

問 診 票

問診者名
署名

体重 _____ kg

eGFR _____

検査日 20 ____ 年 ____ 月 ____ 日
mL/min/1.73m²

これまでに造影剤を使った検査を受けたことはありますか？
 CT 血管造影 MRI その他 (_____)

はい いいえ

これまでに造影剤を使った検査で具合が悪くなったことはありますか？
検査(_____) 症状(_____)

はい いいえ

ヨード（イソジン消毒液や海藻）、薬、食物などでアレルギー症状を起こしたことはありますか？
 花粉症 酒精綿 テープかぶれ
その他原因(_____) 症状(_____)

はい いいえ

以下の病気にかかったことがありますか？

- 甲状腺疾患 褐色細胞腫 多発性骨髄腫 気管支喘息
- 心臓病 腎臓病 マクログロブリン血症 テタニー

慎重投与

はい いいえ

↳ 「はい」と答えた方で、現在治療を受けていますか？

はい いいえ

現在、糖尿病のお薬を飲んでいますか？

はい いいえ

↳ 「はい」と答えた方にお聞きます。以下の糖尿病薬を内服していますか？

- メトグルコ メトホルミン グリコラン イニシンク **ビグアナイド系糖尿病薬**
- メタクト メトアナ エクメット ジバトス、ジバトン、ブホルミン

休薬期間
検査2日前 ~ 検査2日後

注)ビグアナイド系を内服中で eGFR 60 未満の方のみ休薬が必要です。→

上記以外の糖尿病薬 (_____)

女性の方にお聞きます。妊娠している可能性はありますか？ または、授乳中ですか？

はい いいえ

私は、造影剤の使用について必要性、危険性および合併症などについて説明いたしました。以上の問診・診察の結果、造影剤の使用を許可します。

医 師 署 名

済生会新潟県中央基幹病院 病院長 殿

私は、今回の検査で造影剤を使用することについて理解し、これを使用することに同意します。

また、この医療行為の実施上必要な処置および制約、副作用発現時には必要な処置を受けることに同意します。

なお、検査前であればこの同意書をいつでも撤回できることを理解しています。

20 ____ 年 ____ 月 ____ 日

本人 または 代諾者 署名 _____

代諾者のみ
続柄 _____

発行日

患者 ID

フリガナ |

生年月日 |

患者氏名 |

様

年齢性別 |

/

問診票 ロプレソール、コアベータ使用前チェックリスト

● β ブロッカーの禁忌はない	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
● 心原性ショックの状態ではない	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
● 糖尿病性ケトアシドーシス、代謝性アシドーシスの状態ではない	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
● 2度以上の房室ブロック、洞不全症候群など徐脈性不整脈はない	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
● 肺高血圧による右心不全、うっ血性心不全の状態ではない	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
● ロプレソール、コアベータに対し過敏症の既往歴はない	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

慎重投与

● ひだり収縮機能障害	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり
● 気管支痙攣性疾患	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり
● コントロール不十分な糖尿病	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり
● 低血圧症	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり
● 重篤な血液、肝、腎機能障害	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり
● 末梢循環障害（壊疽、レイノー症候群、間歇性跛行など）	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり

以上の問診の結果

ロプレソール、コアベータは使用可能と考えます。心拍数 **60** 以上の場合に使用を検討してください。

ロプレソール、コアベータは使用を控えてください。

医師署名 _____